

全国安全週間を迎えて

労働災害防止を最重点とした行政を推進する

名古屋北労働基準監督署長 田中哲夫



平成25年度の全国安全週間が、
「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」
のスローガンのもと、7月1日から7日までの間、全国的に展開されます。各事業場の皆様は、既に6月の準備期間中から安全パトロール、安全大会ほか種々の取り組みを行っていただいていることと存じますが、この本週間中には、その総括としてさらに積極的な安全管理活動を実施いただくようお願いいたします。毎年、安全週間の時期になりますと、駅や事業場・工事現場において工夫をこらしたポスターや「安全第一」の標語が掲げられたりして、安全週間の季節の到来を実感し

ます。

安全や七月の空晴れわたる 徹尾

俳句は私にとっては余技ですが、下手ながら思いついたままの姿で紹介させていただきます。安全週間にふさわしいのは、やはり、7月だと思えます。3月や8月ですと、句が持つ意味が変化することがお分かりになるかと思えます。

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、一度も中断することなく続けられ、今年で86回目となります。労働災害防止は、「人命尊重」という基本理念のもと行うものであって、事業の規模や業種、職種に左右されるものではないと考えます。働く人々に安全で健康的な職場を提供することは、企業の発展にもつながるものだと確信をしています。さて、景況は業種によってばらつきはあるものの、一定の上昇をしてい

るといふ報道が増えてきました。これを機に事業場の安全管理水準がさらに上がるよう、管理面、設備面、人材開発面等での対策を充実させていただきたいと思えます。この全国安全週間においては、経営トップが安全に対する姿勢を決意として示し、一人ひとりが基本的なルールを守り、みんなで労働災害防止に取り組み、各職場でのゼロ災害を達成していただきますようお願いいたします。

おりしも、本年度は第12次労働災害防止推進計画のスタートの年です。愛知労働局では、平成29

年度において死亡災害40人未滿、死傷者数対24年度比15%減少を目標に逐次の労働災害の減少を目指してまいります。

当署においては、この第12次労働災害防止計画を受けて、本年の死傷者数については昨年と比べて3%減少するという目標を立てております。本年度は、引き続き労働災害防止を最重点とした行政を推進することとしておりますので、皆様も全国安全週間を機に、今後労働災害を発生させないよう安全管理活動を徹底していただきますようお願いいたします。

